



Chigasaki mates

2010. 7. 1

茅ヶ崎方式英語会 協力校通信 第51号

有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakieigo.com/> e-mail: info@chigasakieigo.com

「茅ヶ崎方式30年記念講演会」大盛況の内に終了 茅ヶ崎方式英語会 大美賀廣芳

2010年4月7日(水)、茅ヶ崎方式英語会設立満30周年目を迎えるに先立ち、記念講演会を開催いたしました。

当日は、花曇から春雨に変わる生憎の天候でしたが、約350人の方々が、まさに北は北海道から南は九州まで、全国から、茅ヶ崎方式発祥の地、茅ヶ崎市にご参集いただきました。

英語学習の楽しみ方、あり方を問いかける9つの講演はいずれも大盛況で、30年を祝うに相応しい講演会を催すことができました。

ご参加いただきました皆様、ご講演いただいた先生方、後援いただいた茅ヶ崎市、そして、講演会を支えてくださった実行委員会の皆さんと協力者の皆さんに、ここに、改めて御礼申し上げます。

また、本記念講演会を機に、日本人の英語教育の王道を行く茅ヶ崎方式のさらなる普及発展に努めて参る所存ですので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

* 以下は、当会創立者の当日のご挨拶です

茅ヶ崎方式英語会 30年記念講演会 御挨拶 松山 薫

● 30年前の三つの出来事

本日は私の予想を超えて、こんなに多くの皆さんにお集まり頂き大変喜んでおります。中には、10年ぶり、20年ぶりの方もおられると思います。ここからはお顔は確認できませんが、よく来てくださいました。茅ヶ崎方式英語会が生まれた1981年、つまり昭和56年、この年はアメリカではレーガン大統領が就任した年です。日本では、ローマ法王の初来日があったくらいで、あまり記憶に残るような年ではありませんが、私の立場からふりかえてみると、3つの出来事がありました。ひとつは、茅ヶ崎方式が生まれた、それから、茅ヶ崎の海岸近くに松下政経塾が出来た、それに大阪のたこ焼き屋の2階に英会話学校のNOVAが誕生した年です。

● 茅ヶ崎方式という名前にこめた思い

私が茅ヶ崎校の責任者をやっていた最初の10年間、よく「茅ヶ崎方式」ってなんですか?と聞かれました。例えばNOVAのような、わかりやすくパンチのある名前のほうがよいのではというわけです。しかし、我々にはこの名前にこめた思いがありました。私は、英語会の募集ビラを配りながら、松下政経塾の前を何回も通りましたが、そのたびに「幸之助さん、ほんとにこれでいいの?」と心の中でつぶやいていました。エリート政治家を育てて世の中を変えるという考え方に疑問を持っていたのです。いや、今でも持っています。現在の政治状況を見れば、多くの人がそう思うのではないのでしょうか。私には「国民は、そのレベルにふさわしい政治家しかもてない」という言葉のほうに真実があると思えます。言い換えれば、迂遠なようでも、国民のレベルが上がれば、それにふさわしいリーダーが生まれるようになるということです。それでは、国民のレベルをあげるものはなにか? それは、

徹底した地方分権と、それを支える地方の草の根の文化だろうと私は思っています。「地方の草の根の文化のひとつとして、一隅を照らす」それが茅ヶ崎方式という名前にこめた我々の思いです。

● 何故 30 年も続いたのか

それから 30 年、よく続いたものだと思いますが、最大の原因は、社会の動き、つまり、国際化、情報化、高齢化とマッチしていたからだだと思います。また、茅ヶ崎方式自身に内在した原因のひとつは、考え方が極めて単純明快だったからだと考えています。一言で言えば、私どもが選んだ基本 4000 語を、何が何でも、使えるようにするということ、ただそれだけです。この 4000 語の有用性については、すでに証明されていると考えています。一例を挙げれば、かの有名なオバマ就任演説、全部で 2400 語ですが、基本 4000 語に含まれていない語は、わずか 48 語、カバー率は 98% です。基本原理は簡単明瞭なのですが、これを、何が何でも使用語化してもらうためには、いろいろと工夫しました。「茅ヶ崎方式で勉強していると、いつの間にか、英語力が身についている」となるように関係者全員で頭を絞ったわけです。特に、方式の中心になる教材については、厳しい要求をしました。第一に、「徹底的に学習者の立場に立つ」これは、茅ヶ崎方式教材作成基準の前文にかかげてありますが、・・・これにこだわってきました。そのため具体的には、教材作成者にさまざまな縛りをかけました。例えば、C-0 クラスの教材では、決められた 500 語の使用語の範囲で書け、最初の聞き取りの教材はキッチリ 80 語以内で書け、80 語の中に自分の思いをこめインパクトのある英文を書け、など、などです。縛りをキチンとまもらない作成者には、容赦なく罵詈雑言を浴びせました。多くが女性ですから、おそらく夫にも言われたことのないひどい言葉に、夜布団を被って泣いた人もいたのではないかと。いや、いました。旦那に悟られないようにサングラスをかけて寝たと言っていました。あまりの苦しさに、月に向かって吠えている人がいる、と聞いたこともあります。作成者が苦しめば、その分だけ学習者が効率的に学習できると思います。とにかく、茅ヶ崎方式は教材が命だ。ということを手で覚えてはしかなかったのです。講師の皆さんにも厳しい注文をしました。知識を伝えるだけなら、E-learning で十分だ。何故、わざわざ学習会に来るのか？そこをよく考えなさい。と言い続けてきました。教材を垂れ流すだけの講師は、詐欺師と同じだ。とも言いました。講師の役割とは何なのか？この後行われる土屋さん〔編集註：土屋澄男先生〕の講義が、それに答えてくれるでしょう。

● 英語会に託す夢

NOVA はつぶれましたがひとつだけ学ぶべきことがあります。それは学習に TV 電話を取り入れたことです。茅ヶ崎方式は 5 段階になっていますが、最後の段階である英語による対話を身につけるには、相手が外国人だと感じなくなるまで 300 時間程度のしかもマンツーマンの練習が必要だと思えます。それを NOVA でやったら数十万円かかったでしょう。何とか十分の 1 くらいにならないのか。スカイプを使い、コールセンターを作れば何とかなるのではないかと。英語会代表の大賀廣芳さんは、大学時代から PC にかかわってきた IT の専門家なので、期待しています。教材の電子書籍化にともなあって文字の拡大ができれば、高齢者は大変助かり長く学習を続けられます。さらには、30 年にわたって蓄積してきた教材のアーカイブ化や電子的組み換えができれば、学習者にとって大きな力になるでしょう。それが、私がこれからの英語会に託す夢です。

● 結び

さて、今から 60 年以上も前つまり、英語会が生まれるさらに 30 年前のことです。戦争で焼け残った窓ガラスがない校舎で、焼け跡から焼けたトタンを拾ってきて窓に張ると、暗くてテキストが読めないから、昼間から電灯をつけて講義を聴くというような時代に、共に学んだ仲間が、記念講演のために駆けつけてくれました。浅野さん〔編集註：浅野博先生〕はわれわれの母校の教授を長くつとめた同期生の星です。英語教育界の重鎮であり良心でもあります。30 年の長い間、私に夢を与えてくれた英語会の皆さんへの私の最後の恩返しに協力して下さった同期生の皆さんに、心から感謝し、本日のメインスピーカーで同期生中の有名人である田崎さん〔編集註：田崎清忠先生〕に最初の講演をお願いします。

《伊勢慶蔵院校》 三重県伊勢市

代表 三浦 邦昭

サンデイエゴより伊勢へ

海外初の茅ヶ崎方式サンデイエゴ校を開校したのは2005年1月、あれからもう5年半の年月がたったと思うと感慨深いものがあります。昨年10月に18年間の米国生活に区切りをつけ、子供たち3人を米国に残したまま、家内と愛犬2匹と共に日本に本帰国しました。もちろんこの決断は、私の人生の中でむずかしいもののひとつでありましたが、変化のタイミングというかこの時を逃したらもう二度とチャンスはないという思いがありました。

日本に戻る決断をした後、日本のどこに住むかを定めるため家内と二人で旅行をしました。私の希望はきれいな海の近く、家内は川がありおいしい飲み水が確保されている山間の場所、ということではなかなか住む場所が決まりませんでした。サンデイエゴにいたとき、夏はいつも水不足になりがちで、良質の水のありがたさは二人とも痛いほど分かっていたのです。いろいろな場所を見た後、以前より是非一度訪れたいと思っていた伊勢神宮に立ち寄りしました。豊受大御神をお祭りしてある外宮にお参りした時、私は体全体に涙が止まらないほど強烈なエネルギーを感じたのです。家内もすがすがしいものを感じたようで、結局伊勢神宮外宮のすぐ近くに住むこととなりました。

伊勢に住んでから本当に不思議としか言いようがない形で次々と素晴らしい人々との出会いがあり、その中でも慶蔵院の和尚さん夫妻との出会いは、茅ヶ崎方式英語教室を伊勢で初めて開設する上で特に重要な意味を持っています。慶蔵院では、日本に住む外国人の子供たちに無償で日本語を教える「てらこや塾」を開設しており、これらの子供たちが日本の中で生き生きと生活できるように多くの支援を提供しています。私はこれに感銘を受け、茅ヶ崎方式英語教室を慶蔵院で開くことにより、「てらこや塾」支援の一助となればと考えました。

三重県では、これまで茅ヶ崎方式英語教室が一つもありませんでした。その理由は良く分かりませんが、あまりにも自然が豊かであり、外に目を向ける必要性が少なかったのかも知れません。そのような訳で、とにかく茅ヶ崎方式英語というものを知ってもらうことが重要だと考え、何度も体験クラスを開き茅ヶ崎方式の特長を粘り強く説明しました。これに多くの方々が賛同してくださり、慶蔵院の和尚さん夫妻の力強い支援もあって、今年の4月より約20名でクラス1をスタートさせることができました。三重県初の茅ヶ崎方式英語教室を伊勢の地で開くことが出来たのは、多くの人々のおかげと深く感謝しております。今後はさらに中級、上級クラスへの展開など一步一步進めて行きたいと考えています。



あとがき：昨今、パワースポットという言葉をよく耳にしますが、伊勢神宮はそのパワースポットでも有名な場所ということです。伊勢慶蔵院校の三浦さんはその不思議な力を感じられたのかもしれないね。これから本格的な夏を迎えます。サッカー観戦で寝不足の方もお体にはご留意ください。